



はさみ 議会だより



No.138

平成29年5月号



お兄ちゃん、お姉ちゃんと手をつないで さあ出発！

光輪はさみこども園 歓迎遠足

去年まで手を引かれていた子供たち。今年は小さいお友だちの面倒を見る大変さを学んだようです。いっぱい食べて大きくな～れ！



●29年3月定例会

- ・28年度一般会計補正予算P2
歴史文化交流館(仮称)整備事業の見直しを
- ・29年度各会計予算ほかP3～6
- ・9人が登壇 一般質問P7～12

●委員会レポート..... P12～裏表紙

平成28年度一般会計補正予算(第4号)は **否決**

歴史文化交流館(仮称)整備事業予算一時保留 増額補正に疑問相次ぎ、再検討を求める意見。

反対 討論

三石 孝議員

歴史文化交流館(仮称)整備については、物件の購入前後にしっかり調査がされていないことが疑問が多い原因ではないか。ここは一度立ち止まり、しっかり考え直してはどうか。28年度一般会計補正予算(第4号)はこの一点に限って反対する。

Q 工事がまだ始まっていないのに、継続費3500万円増額の補正が出るのが理解できない。原因を探ってみると、実施設計が上がっていない段階で事業費の総額を確定している点が考えられないか。

A 実施設計を組んでから予算計上すると規模が膨らむ懸念があり、当初の2億4000万円に収めることで協議を重ねてきた。しかし建築基準法をクリアするためにやむなく補正増額をお願いしており、この金額で実施設計を組めると思っている。

Q これだけの費用をかけているのに、性急に進める必要があるのか。もう少し時間をかけて、継続的に集客があるのかなど調査研究をすべきではないか。

A 我々としては、特に急いでいるというわけではなく、一つの目標を持って進めている。皆さんにやっぱよかった、波佐見らしい交流館だと言っていただけのような建設検討委員会の意見を尊重しつつ、よりよいものをつくらうと進めている。

Q 完成見通しはいつ頃か。光熱水費を含めた施設運営費や入場者数の年間の見込みはどの程度か。

A 伸びる可能性があるが、30年8月の完成を目指している。水道光熱費は全体で年間300万円と試算している。人員は、現体制に学芸員1名の追加を想定している。年間入場者数は、施設規模から考えて、東彼杵町歴史民俗資料館の9000人を上回る目標設定を行っている。

Q 観光客が来るような建物も必要だが、カフェスペースや休憩室、図書室の充実など、地域の方が行きやすい施設に拡充を行う考えはないか。

A 通常の箱ものであればギリ貧乏になってしまうとよく聞く。人が気楽に集まり、語らいや勉強ができるような他にない波佐見らしい交流館を作りたいと建設検討委員会で意見を出している。そういったアイデアを出していただき、よりよいものにしていきたいと考えている。

Q 現地調査では、雨漏りがあったり建物がかかり傷んでいると思われる。築42年の建物であり、外見で判断できない不具合もあるのではないか。着工後、老朽化で追加補修など、さらなる費用追加が考えられないのか。

A 老朽化に伴う対策は、当初の予算内で収まっている。補正後の増額3500万円については、塀の鉄筋補強や耐震補強の要求など、当初の整備内容に含まれなかった範囲に限定している。

質 疑
予 算 上

検 討 期 間

入 場 見 込

住 民 活 用

物 件 状 態

よりよい施設の整備に向けて
議会としても引き続き調査及び
議論を行っていきます

町長 補正否決後説明
このような結果に至ったことは深く反省し、建設検討委員会や内部で今後十分検討を行う。計画の内容については町民の皆さまへ説明を行い、ご理解を得た上で、しかるべき時期に再度提案したい。

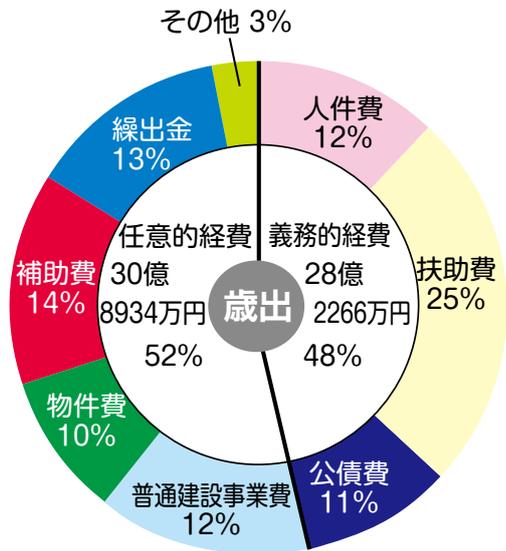
一般会計補正予算(第5号)		可決	
歳入		歳出	
町 税	2428万円	総 務 費	1606万円
国・県支出金△1億9875万円		民 生 費	△3358万円
分担金及び負担金 △712万円		土 木 費	△2億1495万円
寄 附 金	2903万円	教 育 費	△1億1217万円
町 債△1億9840万円		災 害 復 旧 費	△2133万円
そ の 他	△5603万円	そ の 他	△4103万円
合 計	△4億700万円	合 計	△4億700万円

特別会計・企業会計補正予算 可決	
会 計 名	増 減 額
国民健康保険事業特別会計	3993万円
後期高齢者医療特別会計	△309万円
介護保険事業特別会計	△9466万円
下水道事業特別会計	△1821万円
工業団地整備事業特別会計	△5950万円
上水道事業会計収入	39万円
同上 支出	△41万円

活力ある波佐見町を!!

住みよいまちづくりのための予算を可決

平成29年度一般会計予算
59億1200万円
 (前年度比△3億5900万円)



※小数点未満切捨

平成29年第1回定例会は3月6日に招集され、22日までの17日間の日程で開催されました。今回は、29年度予算や28年度補正予算、条例改正など21議案が審議されました。

なお、28年度一般会計補正予算(第4号)に計上された歴史文化交流館(仮称)整備事業の増額補正が否決となったことに伴い、28年度一般会計補正予算(第5号)及び29年度一般会計補正予算(第1号)において、関連する継続費等を減額する追加議案が上程され、可決されました。

この結果、29年度一般会計予算は59億1200万円(前年度比△3億5900万円)でスタートすることになりました。

歳入

区分	項目	予算額	割合
自主財源 30%	町税	12億6606万円	21%
	使用料及び手数料	9571万円	2%
	寄附金	5700万円	1%
	その他自主財源	3億5695万円	6%
依存財源 70%	地方譲与税	5450万円	1%
	各種交付金	2億7590万円	5%
	地方交付税	17億5000万円	30%
	国県支出金	16億1618万円	27%
	町債	4億3970万円	7%
合計		59億1200万円	100%

【一般会計 29年度の重点施策(一部抜粋)】

雇用創出・定住促進

- 企業誘致奨励金(空き工房利活用) 500万円
- 中小企業振興資金、創業支援資金貸付預託金 9500万円
- 定住奨励商品券・奨励金 1140万円
- 空き工房管理運営委託、空き工房改修補助金 320万円
- 新婚生活支援事業補助金 288万円
- 3世代同居・近居促進事業補助金 200万円

地場産業の振興

- 窯業人材育成等産地支援事業 3174万円
- 伝統工芸品産業支援事業 200万円
- 全国棚田サミット事業運営事業補助金等 1150万円

その他

- 旧公会堂耐震補強修復事業 4060万円
 - 町道改良事業 5300万円
 - 環境美化推進事業 450万円
 - 人づくり推進事業(笑育ほか) 520万円
 - 学力向上対策事業 300万円
- など

社会保障・子育て支援

- 福祉医療費(障害福祉、児童福祉) 5987万円
- 障害者自立支援給付費(厚生医療、訓練給付費) 3億8856万円
- 放課後児童健全育成事業(障害児受入、運営支援等) 3379万円
- 延長保育及び一時預かり事業補助金 2667万円
- 認定こども園施設型給付費・私立保育所施設型給付委託費 6億945万円

予算特別委員会の
 内容は次ページに
 掲載しています。



【特別会計・企業会計】

- ◇国民健康保険事業特別会計 19億7000万円
- ◇後期高齢者医療特別会計 1億5810万円
- ◇介護保険事業特別会計 12億9980万円
- ◇公共下水道事業特別会計 3億3558万円
- ◇町営工業団地整備事業特別会計 6540万円
- ◇上水道事業会計 4億2300万円
- ◇工業用水道事業会計 1600万円

※上水道及び工業用水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計

29年度予算特別委員会Q&A

総括

Q 予算作成にあたり、景気動向をどう分析し、考慮したのか。

A 景気は若干上向きと捉えているが、財政状況は非常に厳しい。

Q 役場で使われているパソコンの台数は。

A 窓口関係が約30台、業務の効率化を図る目的の機器が約35台、職員の情報端末に使っているものが約115台、その他を含めて200台近くある。

Q 臨時職員の雇用が多いと思うが正職員の採用を増やす必要はないのか。

A 慎重にやっている状況。29年度中に職務の内容を精査しながら組織の在り方を検討したい。

歳入

Q ふるさとづくり応援寄附金の状況は。

A 28年度実績としては2月末現在で4200万円程度の寄附をいただいている。

波佐見焼の種類を増やし、県内産の牛肉や海産物など食品のラインナップを拡充して、より多くの寄附金を募りたい。

総務・議会

Q バス路線維持補助金は毎年増えているが、今後の対応は。

A 欠損補助対象である川棚内海線は、沿線通学者や一般利用客の減少が続いている。

住民の生活になくはない路線であり、利用促進対策も考えなければならぬ。

Q 空き工房・空き家改修補助金の内容は。

A 空き工房改修は、1件100万円を上限に2軒程度、空き家改修は清掃・改修費として1件60万円を上限に3軒程度予定している。

Q 大学連携子育て講座及び学外教育支援事業の詳細は。

A 県内の大学にて企画されている子育て支援講座を招致し、可能な限り多くの方に参加いただける講座を複数回開催する計画である。

学外教育支援は、要支援、要保護家庭の児童を対象に概ね月額5000円を15人程度支給する計画である。

改修された空き工房
みんなのアトリエはさま



民生

Q 民生委員、児童委員の円滑な委嘱・活動のため処遇改善を。

A 同委員は無報酬であり、活動費も十分でない。長崎県民生委員協議会も費用の増額を要望しているが、町としてもできる限りの支援をしていきたい。

※写真はイメージです。



ふるさと応援寄附金返礼品ラインナップの拡充を

29年度予算特別委員会Q&A

衛生

Q 健康マイレージ事業の内容と啓発・周知方法は。

A ウォーキングの歩数や健康診断の受診をポイント化し、一定ポイントに達したら賞品を贈呈する。町内放送、広報誌、のぼり、イベント時に啓発・周知を行う。



Q 高齢者と子供の予防接種の助成金は一人当たりいくらか。

A インフルエンザワクチン予防接種は、高齢者が2500円、乳幼児から中学生までは2600円。また、高齢者肺炎球菌ワクチン接種は、3000円である。

農林水産

Q 簡易ハウス設置助成事業とは。

A 2戸以上、100㎡以内のビニールハウスを設置し、販売を目的とした野菜作りを推進する事業。助成金は上限30万円。

商工

Q 電話録音装置の活用実態は。

A 成果が出しにくいところがあるが、今後も詐欺を未然に防ぐため啓発したい。

Q 陶器まつり駐車場として借用する長崎キャノンの費用は。

A 陶器まつり協会が無償で借用すると聞いている。

Q 中尾山伝習館の改修内容は。

A 築20年以上経過しており必要箇所を改修する。

土木

Q 道路維持費は減額され続けているが今年度はどうか。

A 昨年度より100万減額である。

Q 西ノ原地区の波佐見中央線が旧講堂前を開通するまで何年かかるか。

A 予算が確保できれば3年から5年と思われる。



築20年以上経過した中尾山伝習館

消防

Q 新規購入のトランシーバーの設置場所は。

A 各分団に1台、本部と役場に各1台の計10台。



トランシーバー

教育

Q 要保護・準要保護児童や特別支援児童への就学援助の内容は。

A 学用品、通学用品、小中学校入学用品、修学旅行費、宿泊体験時の校外活動費、給食費、医療費。



補修が要望されている道路

(次ページへ続く)

(前ページの続き)

Q 各学校のトイレの洋式化率は。

A 小学校35%、中央小学校32%、南小学校83%、中学校21%。各トイレに洋式便器を1つは設置しようと進めている。



現在の中学校トイレ

Q 東・南小学校の通学車輻運行委託料の増額理由は。

A 通学路における不審者対策のため、新たに中尾・皿山地区の全学年を対象に下校のみ運行する。

Q 学力向上対策事業の内容は。

A 高学年を対象に、学力向上支援員が直接指導する。1日6時間、週3日で1名を考えている。

企業会計

Q 上水道会計は黒字になっているが、老朽化した本管の取替工事は計画的に行っているのか。

A 毎年8000万円予算計上して、改修工事を行っているが、老朽化率には追いついていない状況である。

○波佐見町教育施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正

波佐見町教育施設整備基金の用途を学校施設などに限定せず、社会教育施設全般に使えるよう改正されました。

○波佐見町国民健康保険条例の一部を改正

国民健康保険料の軽減措置にかかる判定所得が改正されました。

○「所得税法第56条廃止」を求める意見書提出についての請願は不採択

当該請願は総務文教委員会へ付託し、審査を行いました。白色申告から青色申告へ移行する努力を促すべきとして、不採択となりました。

※当該請願に関する詳細については12ページの委員会レポートに掲載しています。

3月定例会 賛否表

主な議案
○賛成 ●反対 -は欠席

議案番号	議案	議決の結果	表決数 賛成:反対	議席番号												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	平成29年度波佐見町一般会計予算	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2~8	平成29年度波佐見町国民健康保険事業特別会計予算他6会計予算	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	平成28年度波佐見町一般会計補正予算(第4号)	否決	3:10	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
10~15	平成28年度波佐見町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)他5会計補正予算	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	波佐見町教育施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	波佐見町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	長崎県市町村行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の減少について	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	平成28年度波佐見町一般会計補正予算(第5号)	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	平成29年度波佐見町一般会計補正予算(第1号)	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願2	「所得税法第56条廃止」を求める意見書提出についての請願	否決	1:12	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

※議長は採決に加わりません。可否同数の場合は、議長表決となります。

ここが聞きたい

一般質問

一般質問とは、町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、自己の意見や政策を述べるものです。

質問権は、町の重要な意思を決定し、住民に代わって行財政の運営を監視する機能をもつ議会の構成員である議員に与えられている固有の権利です。

事前通告制を採用し、制限時間は一人あたり60分。1回目の質問は一括して行い、2回目以降は一問一答式で行います。

※3月定例会会議録は、5月下旬ごろ町ホームページへ掲載します。

<http://www.town.hasami.lg.jp>



ページ	議員名	内 容
8	城後 光	1 交流人口から定住人口拡大施策について 2 町内のインターネット環境整備について 3 学校教育におけるICT活用方針について
8	太田 一彦	1 産業廃棄物とリサイクルについて
9	堀池 主男	1 役場庁舎建設について 2 教育施設について 3 施政方針について
9	脇坂 正孝	1 ごみ処理施設の改築工事及びごみの減量化について 2 町公共施設の電気供給契約について
10	中尾 尊行	1 選挙における投票率の向上について 2 学校給食について
10	北村 清美	1 本町の過疎化対策について 2 三股、中尾、鬼木、金屋、川内郷にまたがる「はさみ山の手観光ロード(仮称)」について
11	川田 保則	1 農業政策について 2 町道南部線の一部に未完成区間があるが改修の予定はあるのか
11	尾上 和孝	1 医療用ウィッグ購入補助金について 2 婚活・移住・定住促進対策について
12	三石 孝	1 歴史文化交流館(仮称)について

- ◎ 町内イベントの見直しについて
- ◎ 児童預かりサービス拡充について
- ◎ 学校教育のICT活用促進について



城後 光 議員

問 町など公的団体や自治会など地域主催のイベントが非常に多いとの指摘が特に移住した方から寄せられている。

町長 現在の実施状況を調査し、日程調整を行い、各イベントがさらに発展するような取り組みができないか。

町長 イベントについては沢山ありすぎる思いを持っている。

行政と民間、お互いにとって負荷がかからないように、主催者と連絡調整の上で少しは行事を減らしたほうがいいと感じている。

町長 町職員や民間の事業関係者、双方の合意を前提に、バランスのとれた協力関係が築けるような体制作りを進めていきたい。

問 女性労働者が増加している中で、経験者などのボランティアを活用して、土日における児童の一時預かり施設を新設する考えはないのか。

町長 日曜日の一時預かり保育を行う施設を新設することは難しい。

しかし、それを補完する

ものとしてファミリーサポートセンター事業がある。これは、児童の預かり援助を希望する保護者と、そのサポートを希望する者との間で、援助活動に関する連絡・調整を行い、地域における育児の総合援助を進めるものである。

本町でもニーズを調査し、これを設置する方向で、東彼三町で協議したい。

問 南島原市や武雄市などで行われているように、民間企業のサポートによるICT教育に向けた積極的な対応を行っていく考えはないか。

教育長 次期学習指導要領ではICT教育の重要性が増すこととなっている。NPOを含む民間企業等との連携も視野に入れ、タブレット端末を含む機器類の計画的な整備と指導体制の確立を研究したい。

町長 町内には2社ある業者において回収処分が行われている。1社は、最終処分の方法をとられており、もう1社はリサイクル及び最終処分の両方の処理体系で実施されている。

問 本町の陶磁器産業廃棄物処分場設置に対する今後の基本姿勢は。

町長 町による最終処分場の設置は行わず、可能な限りリサイクルを推進し、廃棄物の最小限化を図る。

なお、産業廃棄物の処理は排出事業者が最終処分終了まで適正処理の責任があると法律で義務づけられている。

問 産業廃棄物業者の現況はどうか。

町長 町内に2社ある業者において回収処分が行われている。1社は、最終処分の方法をとられており、もう1社はリサイクル及び最終処分の両方の処理体系で実施されている。

問 現在リサイクル率はどの程度か。

町長 廃石膏と陶磁器くずのリサイクルを行っている。事業所の陶磁器産業廃棄物全体の年間処理量が約400トンである。そのうち廃石膏のリサイクルが140トン、陶磁器くずが30トンである。廃石膏のリサイクル率は18・9%という状況である。

問 こうした方針と状況を窯業関係者にどのように周知するのか。

町長 最終処分量を減らし、可能な限りリサイクルへ誘導するためには排出事業者の意識改革が必要である。関係団体や県の窯業技術センター、産業振興財団で協議を始めている。先般、町内の陶磁器業界団体の代表者に対してリサイクル推進のための説明を行った。

波佐見焼振興会をはじめ、工業組合、商業組合、などの関係機関と連携して、啓発やリサイクル等の協議を重ね、少しずつ丁寧に周知を図っていきたい。



歩道などにリサイクル



◎役場庁舎建設について
◎教育施設について
◎施政方針について

堀池 主男 議員

問 外部からなる庁舎建設検討委員会を設置し、12月の一般質問では4回開催との答弁だったが、その後委員会は開催されたのか。

町長 平成28年6月に1回開催している。

問 国では、耐震化が未実施の市町村の本庁舎建設事業等に対し、有利な起債が導入されるが、協議・検討されたか。

町長 制度そのものの詳細な通知がないため、十分な協議までは、行っていない。

問 歴史文化交流館(仮称)の完成後、教育委員会分室は移転するが、残された建物・土地はどうする考えか。

教育長 建物は、老朽化が激しく危険であり、現時点で解体を検討している。敷地は、交差点に隣接し、旧村役場や公民館敷地として由緒ある土地である。今後内部で検討会を立ち上げ、利活用について研究を開始したい。

問 歴史文化交流館(仮称)の駐車場計画は大丈夫なのか。

教育長 現在の計画では、正門前に普通車用として、身体障害者用を含め10台、バス駐車場1台を設置する。

また、複数の大型バスの来館については、駐車場の一角に停車場を設け、その場所でも乗降車を行い、バスは他の場所待機するように計画している。

問 公共下水道は、事業着手から20年が経過している。工事後、道路がかなり傷んでいるが、今後の道路整備計画はどうか。

町長 限られた予算の中で継続路線・緊急性の高い路線を優先して計画している。

問 特殊詐欺など多様化する悪徳商法から被害を防止するための今後の対策は。

町長 国の補助金を活用し、専門相談員及び通話録音装置の導入など被害防止のための啓発を行っていく。

一般質問



◎宴会における「3010運動」の普及啓発を
◎電力供給契約の見直しは

脇坂 正孝 議員

問 東彼地区保健福祉組合で建設中のごみ処理施設の概要及び町民への周知は。

町長 現在、稼働中のごみ焼却施設の隣接地に新しい施設を建設中である。これは、現施設の老朽化などにより、焼却能力が低下し、設備の修繕などで計画的なごみ処理に支障があるため更新するものである。

工場棟、管理棟の建設面積2050㎡、処理能力は1日46トン、総事業費51億7735万円、年間の経費は約2億5000万円。平成30年4月から供用開始の予定である。町民への周知は、広報4月号に掲載予定である。

問 「食品ロス」をなくす「3010運動」が全国的に広がっている。食べ残しを減らし、ごみの減量化を図るため、本町でも普及啓発してはどうか。

町長 「3010運動」は、宴会の際に乾杯後30分は席を立たずに料理を楽しみ、お開きの10分前には再度自席で料理を楽しむこと。食べ残しをできるだけなくそうとする趣旨で、こ

の運動を推奨する自治体が増えてきている。食品ロスは、日本で年間約632万トン、国民一人当たりお茶碗約一杯分の食品が毎日捨てられていることになる。食に対する感謝の心と勿体ないの意識を一人ひとりに訴えかけていく運動こそ最も効果的であると認識している。今後「3010運動」を全町的に広げたい。

問 電力自由化で、電気供給契約が選択可能になったが、町公共施設の契約状況はどうか。また、見直しを行う考えはないか。

町長 全公共施設において九州電力との間で施設ごとに契約し、年間電気料金は約4760万円。新電力会社は、電気料金が安価で、経費削減へ直結するが、その他に付加されるサービスや緊急事態における支援体制なども考慮すべきである。他市町などの状況を見ながら、契約変更によるメリットやデメリットがどうか研究したい。

◎投票率の向上に対する対策は
◎学校給食の無償化は



中尾 尊行 議員

問 過去3回、町議会選挙の投票率が低下しているが、その対策は。

町長 平成20年が76.51%で、24年が74.23%、28年が68.39%である。投票結果を分析してみると、年齢層別では10代から40代が全体平均以下であり、数値を上げているのは50代から70代である。

昨年の選挙年齢引下げに伴い、波佐見高校では、全校生徒に説明会を開催し、今後も継続していく。若年層の有権者には、選挙を身近に感じるように広報、ポスター、チラシなどによるPR活動を積極的に実施していく。

年齢階層別投票率 (%)	
10代 (18～19歳)	44.9
20代	39.7
30代	54.7
40代	64.7
50代	78.3
60代	84.0
70代	83.7

※80代以上は省略、小数点第1位未満四捨五入

問 学校給食の現状とその課題は。
教育長 給食センターでは町職員の調理員3名、常勤の臨時職員7名と米飯担当のパート1名及び交替制の

パート4名の体制である。1日約1360食を年間約200日、各学校に提供している。

給食費は26年度から、小学校235円、中学校280円に変更し、徴収率は100%に近い。課題の一つに、厨房機器の経年に伴う故障が多い。今後とも継続した点検の実施及び修繕などを行っていく。

また、給食物資の高騰による給食費の見直し問題もある。現段階では改定は考えてはいない。

問 食生活の重要性を学ぶための食育はどのように進められているか。
教育長 教育委員会が開催している食育推進委員会や波佐見町小中学校食育推進会議などを通じ、食育の在り方を検討している。

問 子育て支援として、学校給食費の無償化は考えられないか。
教育長 子育て支援については様々な施策を幅広く展開しているが、給食については、保護者負担を原則とし、安心できる学校給食の提供を行いたい。

◎本町の過疎化対策について
◎「はさみ山の手観光ロード(仮称)」の道路整備は



北村 清美 議員

問 本町の過疎化対策について20年後の東地区(特に中山間地域)は、人口減少が予想される。空き家活用促進事業、リフォーム補助金、定住奨励金などの増額を検討できないか。

町長 本町では、最高で空き家補助金改修費は50万円、清掃費10万円、定住奨励金は78万円、リフォーム補助金は10万円である。この地域だけが賃貸や売買が残るようであれば、補助金のあり方も検討する。

問 土砂災害防止法が制定されているが、対策は。

町長 平成31年度までに土砂災害警戒区域の指定を完了する計画。その後、波佐見町地域防災計画を見直し、防災マップなどを作成して住民へ周知徹底を図る。

問 三股、中尾、鬼木、金屋、川内にまたがる「はさみ山の手観光ロード(仮称)」の道路整備ができないか。

町長 三股陶石採石場や陶郷中尾山、鬼木棚田、金屋神社、川内はたるの里など

があり、観光資源の宝庫である。関係地域が連携し、観光ルートの構築に向けた活動には側面的に支援する。

問 鬼木、金屋神社に至る林道を拡張できないか。

町長 林道には、500mに一箇所の離合場所が義務付けられている。今後の利用状況や地区との観光連携など進捗状況を見極めながら、必要な対策を検討する。

問 波佐見オルレを申請できないか。

町長 オルレは厳格な基準や条件があり、認定効果は認めるものの申請については十分な検討が必要。本町は、ウォーキングやトレッキングコースとしては最適な地域でもある。

オルレにこだわらずウォーキングコースとして、景色や道路状況を再点検の上、観光客誘客の手段として活用できないか検討したい。



◎激動する農業政策の今後を問う
◎町道南部線の完成は

川田 保則 議員

問 米政策の見直しとして産地主体需給調整はどのように進めるのか。

町長 これまでの米の生産調整は国指導による生産数量目標が県に配分され、その数量がさらに市町に配分される流れであった。平成30年からは国から県指導に移行し、それぞれの地域の需給に応じて県が示す生産数量の目安をもとに各市町へ配分されることになる。

今後は、これまでの生産調整の継続を基本に、国からの需給価格情報などを参考に、県や集荷業者などと連携して、計画的な需給調整を図る。

問 農事組合法人の今後の取り組みは。

町長 集落営農組織の法人化は、農業経営基盤の強化と所得向上を図る上で避けて通れない課題であった。現在、9集落のうち8集落が移行され、新たに営農活動が展開されている。

法人化に至っていない1集落についても、法人移行に向けて環境整備が図られるよう引き続き支援していく。

農業経営の面から一つの方策として施設園芸（ハウス）を活用しての営農活動も考えられる。



園芸ハウス

問 町道南部線の一部に未完成区間があるが改修の予定は。

町長 全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、波佐見町通学路交通安全プログラムを策定した。通学路の安全確保のため、町道南部線交通安全施設等整備工事の事業採択に向け取り組んできた。波佐見温泉から志折交差点間の660m区間については採択を受け、29年度から事業着手し、7、8年の期間で約4億円を見込む。

一般質問



◎女性の癌患者に医療用ウィッグ（かつら）購入費の助成金制度を
◎婚活・移住・定住促進対策は

尾上 和孝 議員

問 現在、死因の3分の1が癌で亡くなっている。癌と闘うには、当人はもちろん、家族も精神的、経済的にも大きな負担を抱える。抗がん剤治療は、さまざまな副作用を伴い、特に女性にとって脱毛は精神的にもかなりのショックがあり、深刻な悩みの一因である。ウィッグ着用で人前に出ることも前向きになれることから、医療用ウィッグ購入費の助成金制度を設けられないか。

町長 本町においても癌は死亡原因の第1位で、死亡者数の約30%を占める。癌患者医療用ウィッグ購入費に対する助成は、全国的な広がりはないが、複数の県、市町で実施されている。今後は他団体の状況を調査し検討したい。

問 全国的に人口減少傾向にある。今後、老後を見据えた中で、安心して住める町づくりのために、婚活・移住・定住促進対策についてどのような企画があるのか。

町長 定住奨励金や空き家活用促進事業、空き工房改修事業などを引き続き行う。昨年11月から始め



医療用ウィッグ

た結婚新生活支援事業の支給額アップを予定している。また、ながさき移住サポートセンターを昨年4月に立ち上げ、相談から移住、定住までワンストップで移住者を支援し、移住促進につながる連携事業を展開している。

問 今後、小樽郷の小石原団地の建替計画があるが、新婚及び小さい子供がいる家庭に特化して住宅の増設ができないか。

町長 敷地も限られており、現段階で増設の計画はない。

問 今後、高齢者の増加に伴い、認知症が増えることが予想される。認知症初期集中支援チームが設置されるとあるが、どのようなものか。

町長 まだ認知症の初期段階の方を対象に、本人を含めた家族を支援するチームである。

◎歴史文化交流館(仮称)の進捗状況は



三石 孝 議員

問 物件(古民家)取得の経緯の詳細は。

教育長 平成26年の年末に所有者と金融機関の三者で協議を行い、27年12月に所有権移転登記が完了している。

問 取得経費の内訳と償還計画はどうか。

教育長 物件の取得経費3350万円は、90%の3010万円が起債(借金)で、残り10%の340万円が一般財源(税金等)になっている。償還は、2年据え置き、20年償還である。

問 総額3億1612万4000円の財源内訳は。

教育長 総額のうち27%の交付税を除く、73%の償還については一般財源(税金等)が充てられる。

問 ランニングコストは。

教育長 年間300万円程度を想定している。

問 費用対効果を十分検討したか。

教育長 既存民家を購入し活用することで、少ない経費で整備できる。文化財の活用、教育、

情報発信、保存・継承などが可能となる。

問 町民の理解は得られているのか。

教育長 28年4月に全世帯に配布している「波佐見まちづくり計画」で伝えており、町政報告会でも説明してきた。

問 今回の物件の購入経費や金額は、元の所有者の債務整理のための購入ではなかったかと疑われても仕方がない。

今まで財政健全化に尽くされた町長が何故に箱物にこだわるのか、理解できない。年間1200万円の償還は、更に財政を圧迫するのは確実である。その一部でも町民の切なる要望実現の費用に回されないのか。

町長 議員の質問に対して、いろんな面で食い違いがあると感じた。それぞれの人の価値観、情報の受け止め方がある。

波佐見町にとってこの施設は非常に大事である。財政的逼迫しないように最小の経費で最大の効果を表す。その他には、方法はないと思っている。

委員会レポート

総務文教委員会

◎付託事件の審査

「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出についての請願

請願趣旨

地域経済の担い手であり、地域住民の暮らしを支える中小業者の営業は、家族によって支えられているが、日本の税制は、家族従業員の働き分を所得税法第56条により、必要経費として認めていない。家族従業員の働き分は事業主の所得となり、さまざまな弊害が生じているので、早急に廃止されるよう、国への意見書を提出していただきたい。

本委員会では、1月26日に税務課長、住民税係長、2月9日に請願者及び紹介議員の出席を求め審査を行った。

審査の重要な意見として、所得税法第56条は昭和23年に、白色従事者控除制度は36年に創設され、相当の年数が経過して当時と経済状況がかなり異なっていることは理解できる。

しかしながら、国会で所得税法第56条の見直しに入っている中、廃止という意見書の提出は拙速ではないか。また、家族従業員の給料については、現行の制度でも、青色申告に移行すれば経費に計上できるので、移行の努力を促すべきではないかという意見が大勢を占めた。

採決の結果、「所得税法第56条廃止」を求める意見書についての請願は、全会一致で不採択すべきものと決定した。

総務文教委員会

◎歴史文化交流館(仮称)及び波佐見中学校武道館について

2月17日、教育次長
の出席を求め、歴史文
化交流館(仮称)の概
要について、設計図を
基に説明を受け、現地
調査を行った。
夏休み期間中に武
道館を解体し、9月
に着工、30年3月に
竣工の予定である。

現地では、敷地の確
認を行うとともに、駐
車場や増築棟の予定
場所、耐震基準に満
たない塀(撤去しフェ
ンスに変更予定)、既
存建物の内・外部の調
査を実施した。
改築が予定されて
いる波佐見中学校武
道館については、(1)進
捗状況(2)現況及び施
設計画(3)今後のスケ



歴史文化交流館(仮称)耐震基準に満たない塀

産業厚生委員会

◎平成28年度町道・県道の改良、
舗装工事計画及び実施状況調査

1月17日、町道・
県道及び都市計画
道路について調査を
行った。
調査を行った場所
は、町道の八島田ノ
頭線・南部線・長原線、
県道の波佐見山内線・
佐世保嬉野線及び都
市計画道路の波佐見
中央線・西ノ原環状
線の7路線である。

町道の改良・舗装
工事の継続路線につ
いては、早期完成を
目指して順調に進め
られていた。新規に
ついては緊急性の高
い路線を優先し振興
実施計画により進め

る予定である。
また、町道の維持
補修については、側
溝整備や舗装補修・
区画線設置など自治
会等を通じ多くの要
望が出されており、
現地調査を実施しな
がら緊急性のあるも
のから対応していく
とのことであった。
しかしながら、
町道においては
未舗装が十数%
存在しており、
維持補修と併せ
て、早急に対応
してもらうよう
予算措置を含め
要望を行った。

◎産業廃棄物中間
処理施設の現状調査

2月16日、産業廃
棄物中間処理施設で
あるニシケン工業と
福嶋窯材の現状につ
いて調査を行った。
ニシケン工業で
は、廃棄物を種類別
に整然と分けられて
おり、以前より改善



町道南部線の現地調査

産業厚生委員会

されていた。しかし、今までの経緯から地元自治会の不信感は強く、引き続き注意を払う必要がある。福嶋窯材のリサイクルに関しては、小型藻場基盤材・セメント原料・地盤改良固化材・再生石膏・建設資材・肥料・白線ライン材など、用途はあるものの、コストや量的な面で課題も多い。

また、排出事業者は、処理業者に委託しても、最終処分が完了するまで適正処理の責任があると考えられている。この事を知らない事業者も

多く、廃棄物についての認識が足りないため、委員会としても周知を図っていかなければならない。

今後、ニシケン工業と福嶋窯材の2社に関しては、月に1度は行政からの立ち入り調査をするよう申し入れた。

また、排出事業者は、処理業者に委託しても、最終処分が完了するまで適正処理の責任があると考えられている。この事を知らない事業者も



ニシケン工業での現地調査

←前ページの続き

議員活動報告

2月

- 9日 総務文教委員会
- 15日 全員協議会
- 16日 産業厚生委員会
- 17日 総務文教委員会
- 17日 東彼商工会波佐見支部意見交換会
- 20日 県町村議会議長会定期総会
- 21日 県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 22日 議会運営委員会
- 26日 波佐見町壮年会第42回駅伝大会

3月

- 1日 波佐見高等学校卒業式
- 1日 議会運営委員会
- 4日 自衛隊入隊予定者壮行激励会
- 5日 中学校軟式野球波佐見選手権大会
- 6日 29年第1回議会定例会本会議(〜22日)
- 9日 予算特別委員会(〜13日)
- 10日 町老人クラブ連合会年度末交流会
- 13日 いきいき大学開講式
- 14日 波佐見中学校卒業式
- 16日 町内3小学校卒業式
- 18日 東彼林業研究会農林水産大臣賞受賞祝賀会
- 20日 波佐見ロードレース大会

4月

- 24日 東彼地区保健福祉組合議会定例会
- 27日 議会運営委員会
- 30日 幸運トラック株式会社立地協定調印式
- 2日 波佐見町消防団入退団式
- 5日 議会広報調査特別委員会
- 6日 フォトコンテスト受賞作品選定会
- 7日 波佐見中学校入学式
- 7日 東彼杵郡町村議会議長会定期総会
- 10日 町内3小学校入学式
- 10日 波佐見高等学校入学式
- 11日 川棚特別支援学校高等部開設式
- 12日 議会広報調査特別委員会
- 14日 全員協議会
- 16日 波佐見町婦人会文化祭及び総会
- 16日 波佐見町自衛隊家族会定期総会
- 17日 全国棚田(千枚田)サミット第4回実行委員会
- 18日 議会広報調査特別委員会
- 19日 いきいき大学開校式
- 22日 29年度隊友会定期総会・懇親会
- 23日 ふれあい運動会
- 29日 波佐見陶器まつり(〜5月5日)

6月定例会は6月中旬の予定です。多数傍聴にお越しく下さい。

編集後記

桜の開花が遅く、中尾山桜陶祭は一分咲きでしたが天候に恵まれ、例年になく大勢の人で賑わいました。波佐見の認知度は確実に定着しております。

三月の議会も終わり、29年度も始まりました。今後もしっかりやすい広報作りに一層努力したいと思います。



議長	今井 泰照
副委員長	中尾 尊行
委員	城後 光行
	脇坂 正孝
	北村 清美
	三石 孝
	横山 聖代